

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
2010年10月1日発行
隔月発行・通巻No.176
小誌はホームページからも見られます



岡本太郎 《縄文人》1982年 繊維強化プラスチック 川崎市岡本太郎美術館蔵

〈岡本太郎美術館〉 生田緑地内にあります。10/9(土)~1/10(月)には「池田龍雄ーアバンギャルドの軌跡」展が企画されています。

(休館日は月曜日と年末年始。月曜が祝日の場合は翌日)

〈岡本太郎記念館〉 港区南青山(営団地下鉄「表参道」から徒歩)にあります。岡本太郎の自宅兼アトリエを公開したものです。館内にはアトリエやサロンのほか、たくさんの作品も展示されています。

(休館日は火曜日と年末年始。火曜日が祝日の場合は翌日)

もくじ

- 7 6 4 3 2
- 情報ポケット
- 施設めぐり
- 二ヶ領用水竣工四百年
- 特集
- シアアのパレット
- まち・ひと・多面体

誌上ギャラリー

一九五一年、東京国立博物館で縄文土器との邂逅(かいこう)思いがけない出会い)を果たした岡本太郎は、その衝撃を作品を通して表現する。
この作品は、太郎の縄文に対する思い、原始の力を、エネルギーに表したものである。



(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体



生田緑地**ばら苑**を 守り育てるひとたち



向ヶ丘遊園地閉園の後、市民の声に応じてばら苑が川崎市に引き継がれたのが2002(平成14)年。遊園地の“ばら苑”の始まりは1958(昭和33)年です。2008(平成20)年には開園50周年を迎え、新たにイングリッシュローズコーナーも整備されました。このばら苑を今も守り育てている市民ボランティアがいます。

ボランティアは毎年7月に公募されます。今年の応募者は二百数十人ほど、作業日には30人前後が集まります。春秋2回の公開に備えて雑草を抜き、肥料を与え、花がらを摘んで整えるのです。向ヶ丘遊園地で植栽の管理をしていた人たちが川崎市公園緑地協会の職員として残るなどして、市民に植栽の技術を伝授してきました。今も職員と市民が一体となってばら苑を守っているのです。

公開中は平日・休日を問わず、たくさんの方がばら苑を訪れます。事務所の電話は鳴りっぱなし、遠方から来る人も多いようです。

受付のテントにいたボランティアの女性は「平日は仕事もあってお手伝いできませんが、苑の近所に住み、たくさんの方にお世話になっているので、恩返しの意味でお手伝いしています」と言っていました。10年前から参加している男性は「特にばらが好きだというわけではないけれど、健康維持と学習を兼ねて参加するようになりました」と話していました。自宅ではばらを育てており、ばらについての知識を高めたいと考えて参加した人も多いようです。

春の公開日を終えた後の苑を訪ねてみました。専門家から基礎的な説明を受けた後、早速雑草取りに入ります。日ごろの手入れが大切なのです。



雑草を摘み取るボランティアたち

秋の公開は10月15日から始まります。

■問合せ
ばら苑管理事務所
☎044-978-5270

KUJI ROCKを盛り上げよう! 川崎市子ども夢パーク スタジオプロジェクト

猛暑真っ盛りの7月24日(土)に子ども夢パークで行われた第16回KUJI ROCK(クジロック)。この日は2階の交流スペース“ごろり”がライブハウスに変身、エレキギターやドラムの音と参加者の熱気があふれていました。

KUJI ROCKは、夢パークのスタジオを利用している子どもたちの発表の場を作る目的で、2004年「久地」の地名にちなんで開催されるようになりました。防音壁や舞台のセッティング、照明やアンプの配線など準備から片付けまで全て参加者全員で行います。



準備に励む若者たち



前日準備では「あつい!」「めんどくせ〜」と汗だくの準備にグチを言っていた子どもたちも、演奏を始めると別人のようです。目が輝き、飛び散る汗も気にせず自分たちの最高のパフォーマンス



スを見せようと真剣そのものでした。このイベントを支えているのが、通称スタプロと呼ばれているスタジオプロジェクトのメンバーです。このスタプロは「スタジオを利用している子どもたちと職員が話し合う場をつくろう」というミーティングから発展したもので、スタジオ利用のルールの見直しやKUJI ROCKの開催が主な活動です。

「KUJI ROCKをつなげていきたい」と今年からスタプロに参加した高校2年生の男子は、「スタプロとしてKUJI ROCKを開催してみて、細かいところに気がつくようになった。自分たちがやるライブにも役立つと思う」と先輩たちの行動を見て学んだことを話してくれました。受験をひかえているため裏方に徹した女子メンバーは「スタプロで知り合いが増えたのが良かったかな。もっと皆が参加すればいいのに」と言っていました。メンバーが少ないことが気がかりのようです。

演奏の音が漏れるなど課題はあるものの、近隣の方々への理解にも支えられて、「KUJI ROCKを盛り上げよう」という彼らの熱い思いは、きっと今後につながっていくに違いないと感じました。

■問合せ 川崎市子ども夢パーク ☎044-811-2001

サークル 地図の旅



皆さんは「地図の旅」というサークル名から、どのような活動を思い浮かべますか。地図を開き、等高線や地図記号を指先でたどりながら、町並みや山並みを思い描く……。そこまで想像できて100点満点中の30～40点というところでしょうか。「地図の旅」のメンバーは、同じ土地をあらゆる古地図と現代の地図を見比べて土地の変遷を検証したり、その土地にまつわる歴史や、その土地ゆかりの人物について研究したり、専門家を招くなどして学習を重ねています。こうした下調べを重ねた後、いざ現地へ。初めて訪れる場所の見方が深まり、広がるのです。もちろん実地踏査のあとの振り返りも怠りません。5年間の活動の記録が本にもなりました。「サークル地図の旅」の取材は感心と感動の連続でした。

「サークル地図の旅」の始まりは平成11年、多摩市民館主催の成人学級「地図の旅」を受講した仲間たちが始めました。毎月第1火曜日を定例として室内学習を行います。そして、3月・5月・8月・11月には、地図を片手に日帰りの歩き旅をしています。会のモットーは学習向上・健康・地域への貢献。平成17年には「地図利用の啓発に貢献」ということで、全国で3組だけが受賞対象となる国土地理院院長表彰を受けたとのこと。

熱心な事前学習と振り返り

5月半ばの午後、活動の本拠地多摩市民館で行われている学習会を訪ねました。この日は、まず4月に行った「根岸森林公園から本牧山頂公園」の旅についての振り返り。根岸森林公園は1857年にわが国初の洋式競馬が行われた所、戦後は接収されて米軍のゴルフ場などに使われていたそうです。現在はその跡地に競馬記念公苑が建てられ、森林公園として市民、県民の憩いの場になっています。下調べをもとに桜の花が咲き誇る苑内や周辺施設を歩かれたそうですが、その学びの濃さに驚かされました。会員一人ひとりの感想に、学びを自らのものとした充実感が溢れていたのです。



収集した貴重な地図を広げて

水準原点探訪

活動ぶりに魅せられて、5月21日に行われた「日本水準原点探訪」に同行させていただきました。



水準点が設置されている石積み建造物の前で

これは6月3日の「測量の日」を前に毎年国土地理院が一般公開をしていることに伴う企画です。

明治時代の数少ない近代洋風建築の水

シニアのパレット



熱心に水準原点を覗く会員たち

準原点標庫。その扉が開かれ、中央にすえつけられた細長い水晶を覗き込むと、石蔵の匂いと共に赤い線がうっすらと見えました。「明治24年につくられた日本の高さの基準です」と解説をしている国土地理院の方の話を一言も聞きもらすまいと、熱心に聞き入る会員たち。次々に質問が飛び出していました。

水準原点探訪の後、六本木にある「日本経緯度原点」（日本の確かな位置の基準を示している施設）も見学して、この日の活動を終えました。

大丸用水の旅

5月の末には稲城市大丸の多摩川（大丸堰）から取水されて登戸まで流れている農業用水「大丸用水の旅」に同行しました。

その成立は17世紀ごろとか。南武線南多摩駅から線路脇を通過して多摩川の河川敷へ抜けると一気に視界が広がります。12人の参加者が、下見をした仲間の説明に耳を傾けながら、用水の流れに沿って歩きました。「水は地球の命 恵みの水を大切に」という看板の標語が心地よく胸に響きます。



立体交差させて水を供給している

用水路は想像以上に複雑かつ見事に開削されていました。幅の異なる流れに分水されたり、立体交差したり……。それぞれの田畑に片寄りなく水を行き渡らせる先人の工夫、英知には舌を巻くばかりです。

この会がスタートした当初から代表を務める横山正幸さんのリーダーシップのもと、勉強熱心、探究心旺盛な19人の仲間たちが、今日も地図を片手に旅を重ねています。

■問合せ 川崎市多摩市民館 社会教育振興係
☎044-935-3333

特集

二ヶ領用水 竣工400年

1597(慶長2)年、用水奉行・小泉次大夫によって測量が着手された稲毛・川崎二ヶ領用水は、14年の歳月を経て1611(慶長16)年に竣工(しゅんこう=完成)しました。農業用水として、後には生活用水・工業用水として川崎の発展を支えてきた二ヶ領用水は、南関東最古の用水としても知られています。来年(平成23年3月1日)、竣工400年という記念すべき年を迎えます。二ヶ領用水は今、行政とたくさんの市民ボランティア、郷土を愛する人たちの連携を力に、新たな歴史を刻んでいます。

～長く後世に伝えたい “いこいの水辺”～



宿河原堰横の「二ヶ領せせらぎ館」と市民が揚げた鯉のぼり



毎年8月中旬に行われている宿河原町会主催のとうろう流し



「二ヶ領用水中原桃の会」が毎年行っている補植作業



町田堀と大師堀の分岐点に立つ「わが国最初の工業用水」の表示板



宿河原堰保存会・宿河原町会による桜の菰(こも)巻き作業



1941年平賀栄治の設計で作られた久地円筒分水



荻宿堰から加瀬堀と付近の史跡をたどる日吉郷土史会の皆さん

二ヶ領用水 400年の主な歩み

- 1597年 用水奉行小泉次大夫、徳川家康の命で測量開始。多摩川兩岸、川崎・稲毛、六郷・世田谷領で。
- 1611年 地域農民の協力を得て分水路を含め全工事竣工。14年を要す。灌漑面積・支配石高は史料なく不明。
- 1717年 水田面積60カ村2,007町歩余を灌漑。支配石高は25,900石余に及ぶ。すでに中ノ嶋村宿河原村両口取入玉川用水組合と呼称。名産稲毛米を生産。
- 1725年 川崎宿名主から勘定方役人に登用の田中休愚、荒廃化した兩岸四ヶ領用水の改修工事に着手する。久地村分量樋の設置や用水使用の乱れ等の是正。
- 1821～22年 溝口水騒動＝二ヶ領用水の水争い。川崎領農民ら、溝口村名宅を打ちこわし、江戸表へ強訴。
- 1870～73年 横浜水道への分水問題派生。鹿嶋田堰付近から木樋管水道できるが、漏水などで86年に廃止。
- 1897～98年 稲田村ほか12カ町村用水普通水利組合と大師河原村ほか4カ町村用水普通水利組合が設立。
- 1910年 久地分量樋・大坊樋(いりひ)・八幡下大坊樋など大改修工事。明治43年の大水害発生し、大被害。
- 1933年 小河内ダム建設で、神奈川と東京が水利紛争。稲毛川崎普通水利組合、東京市へ抗議。
- 1936年 東京市からの補償金150万円を有力財源に、県営多摩川右岸農業水利改良事業がスタートする。
- 1939年 日本初の公営工業用水道(平間浄水場)創設。余剰水を川崎市に売却し、工業用水の水源となる。
- 1940年 前記農業水利改良事務所長に平賀栄治就任。円筒分水工事、平瀬川・三沢川改修、堰堤改良を推進。
- 1941年 水利組合解散決議。財産・権利義務を市に譲渡。久地円筒分水竣工、平瀬川改修工事と連動。上河原堰堤工事(41～45年)。宿河原堰堤工事(46～49年)。
- 1960年代 農業用水の役割喪失。荒廃化・ドブ川化進む。
- 1980年代半ば 再生の動き(市民・行政)、親水護岸化。
- 1997年 開削開始400年。400年の会、400年の集い。
- 2009～11年 竣工400年プロジェクト、記念事業を展開中。
[資料作成:長島 保]

文化財としての二ヶ領用水ー “いこいの水辺” づくりを進めよう!

平成23年3月1日に竣工400年を迎える二ヶ領用水。竣工400年プロジェクト代表として活動を推進してきた地域史研究家の長島 保さん(76)に、お話をお聞きしました。

長島さんは自他共に許す“多摩川大好き人間”、東京都世田谷区の桜新町で幼少期を過ごした長島さんは、友だちと誘い合わせてしばしば多摩川で泳いだり釣りをしたりしたそうです。県立高校教員だった長島さんは職場のあった川崎に向かう日々、多摩川を見、多摩川を渡って暮らしてきました。長島さんは「川とかかわった人々の暮らし」に対する関心を深め、その生活史・社会史をライフワークとして学び続けました。川崎の歴史についても学ぶ中で当然のように行き着いたのが多摩川の歴史、そして、二ヶ領用水の歴史でした。

自然堤防しかなかった多摩川の川崎側は繰り返し大洪水の被害に遭いました。二ヶ領用水もその都度大きな影響を受けました。*アミガサ事件に始まる流域住民の築堤運動、国や県に対する市民の陳情活動が徐々に実を結んで行くのです。河川行政は治水・利水という視点から地域住民の暮らし第一へと移りました。環境用水としての役割が次第にクローズアップされるようになるのです。

長島さんは「自然のうるおい」「水と緑」という言葉を繰り返されました。国と市と市民がパートナーシップを築く新しい動き、多摩川エコミュージアム運動が始まっています。「次世代につなぐ『いこいの水辺』づくりのために、文化財としての二ヶ領用水を守り育てていきたい、二ヶ領用水研究会を立ち上げたい」と、熱く語っていただきました。

*アミガサ事件: 1914(大正3)年、多摩川の大水に苦しんできた御幸・住吉・日吉・町田の4カ村の住民が早期築堤を求めて立ち上がった事件。

竣工400年記念事業実行委員会の取組

二ヶ領用水竣工400年にあたっては、市内各区の歴史同好会、文化協会、観光協会、町内会・自治会、市民ミュージアムなど、35団体によって記念事業実行委員会が構成され、運営委員会(事務局: *多摩川エコミュージアム)を中心に活動しています。また、行政サイドからも総合企画局・建設緑政局などの関係部局や区役所が参画して、さまざまな記念事業が展開されています。

*「二ヶ領せせらぎ館」(宿河原堰横)を管理運営するNPO法人

＜2010年度の主な事業から＞

- ◆二ヶ領用水昔の写真展 ◆市民アカデミー二ヶ領用水講座 ◆円筒分水写真展
- ◆「全国円筒分水サミット2011 in 高津」1月22日(土) 高津市民館
- ◆フォトコンテスト 11月16日(応募締切) *入賞作品が記念切手シートになります。
- ◆二ヶ領用水散策マップ作成(大好評増刷中) *二ヶ領用水絵巻(ちえ)図も改訂作業中です。

竣工400年 二ヶ領用水シンポジウム
2011(平成23)年 2月27日(日) 中原市民館

- 二ヶ領用水の歌発表 ○創作落語
- フォトコンテスト入賞者表彰 ○基調講演 など

市民ミュージアム企画展
「(仮)二ヶ領用水ものがたり」
400年の歴史を振り返ります。
23年7月23日～9月11日

施設めぐり

財団が管理運営する施設のご紹介

有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ) ～地域の生涯学習を応援する文化講座～

アリーノは、生涯学習の支援の場として、また、地域活動の拠点として、多くの皆様にご利用いただいています。今回は、当施設で展開されている講座の一部についてご紹介します。

アリーノでは、できるだけ地域の人材を登用し、幅広く地域の方々の生涯学習を応援できる文化講座を開設することに努めています。第1期の文化講座では、地域を中心に広く講師を募集して「絵手紙」「ベビーマッサージ」「フラワーアレンジメント」「書道」を開設しました。今、そこで学んだ方々が自主サークルを立ち上げて継続的に学習しています。

第3期として10月から開設する講座は「紅茶とお菓子作り教室」「オイルパステルアート」「日本舞踊」「生活にいかせるアロマ」など、魅力的な内容の文化講座です。アリーノのホームページやアリーノニュースなどでご紹介していますのでご覧ください。

施設の主催事業「パソコン講座」で学ぶ人からは「できた!」という喜びが伝わってきます。「囲碁講座」は小学生から年配者、そして女性にも人気があり、多くの人が楽しんでます。講師陣も「囲碁は脳を活性化し、集中力を高めます」と大張り切りです。

夏休みの特別企画として行った「体験理科教室」「オモシロ算数教室」「親子で体験合気道」「書道でアート」や白百合幼稚園との協賛事業「親子で楽しむ夏の夜の星空さんぽ」は、参加者も大満足の講座になりました。

URL <http://www.arima-nogawa.jp> ■問合せ ☎044-853-3737



麻生スポーツセンター ～春のスポーツ教室から～

春のスポーツ教室である“親子スポーツ”と“真向法(まっこうほう)体操”が5月から全10回の教室として行われました。

親子スポーツは、親子で楽しみながらマット運動、跳び箱などの器具運動や集団でのゲームをすることで、運動機能の発達をうながし、協調性を育むことができました。多くの方から「回数を重ねるごとに子どもの変化、成長が見られ、感動しました」「話を聞く姿勢や挨拶など基本的なことも教えていただき、感謝しています」といった声が寄せられました。



真向法は、からだを和らげ、姿勢を矯正し、血行を促進させることで、健やかな体で安らかな心＝「健体康心」を実現させる体操です。参加された方からは「固かった体が少し柔らかくなった」とか「姿勢の大切さに気づかされ、体が柔らかくなって気分がよい」などの声が寄せられ、大好評のうちに終了しました。

真向法は、からだを和らげ、姿勢を矯正し、血行を促進させることで、健やかな体で安らかな心＝「健体康心」を実現させる体操です。参加された方からは「固かった体が少し柔らかくなった」とか「姿勢の大切さに気づかされ、体が柔らかくなって気分がよい」などの声が寄せられ、大好評のうちに終了しました。

URL <http://homepage2.nifty.com/asasupo/>

■問合せ ☎044-951-1234



大山街道ふるさと館 ～第1回企画展「墨が創り出す音のない音楽」～

「筆を使うことが少なくなった現代の人々に、その便利さとおもしろさを知ってほしい」、また「書は美しい音の世界を秘めている」と熱く語る地元の書道家、島崎鳳濤(しまざき ほうとう)氏による作品展が8月1日まで行われました。大勢の来館者の見守る中、幅90センチ高さ4メートルの大紙に筆がおろされました。水を打ったように静かになった会場に、躍動感溢れる島崎氏の豪快な筆さばき、パフォーマンスが繰り広げられました。筆が止まった後に人々からため息と感嘆の声が漏れ、期せずして割れるような拍手が起こりました。

開催期間中、約900人の方々が来館されました。「音楽のアプローチということを確認から感じました。豊かな発想のさらなる変化を期待します」、「書体の自由さと寄せ書きがユニークでした」、「共感の持てるものや、思わず笑いを誘う優しさが作品から感じられました」などの感想が寄せられました。来館された方々には、島崎氏の大胆かつ自由で表情豊かな書を、十分に堪能していただけたと思います。



URL <http://furusatokan.web5.jp/>

■問合せ ☎044-813-4705

財団主催の各種講座のご案内やお知らせ

情報ポケット

かわさき市民アカデミー フェスタ '10 “今” を楽しむ ～ともに集い、学び、唄う～ 2010.11.4(木)～11.18(木)

講演会・公開講座また、スポーツ教室・布草履作製・能面展示・陶芸展示、フリーマーケットなど盛りだくさんの内容で開催いたします。

【11月13日(土)】

- ・基調講演「中国の『台頭』と日本の選択」
- ・『オオカミの護符』上映と講演
- ・これがあなたのDNA (公開実験)
- ・どうなる地球? ? 南極から見た環境問題
- ・地球環境時代の自転車のスマートなまちづくり

【11月14日(日)】

- ・古代王朝世界の雅 (みやび)
- ・フェスタ寄席
- ・みんなで唄おう! 昭和の名曲
- ・市民大学の歴史と現在(いま)を考える
- ・熊谷監督トークと『三池 終わらない炭鉱の物語』上映
- ・これからのライフスタイル提案

【野外講座】～自然観察～

- ・目黒不動と林試の森11/4(木) (要申込)
- ・秋の野川公園を楽しむ11/8(月) (要申込)

【講演・演奏・映画鑑賞】

- ・「ポーランドとショパンの音楽」[ピアノコンサート]
(新百合21ホール) 11/12(金)
- ・映像オペラ「連隊の娘」を楽しもう
(川崎市国際交流センター) 11/18(木) (要申込)

*都合により内容を変更することがありますので、その場合ご容赦ください。
*事前申込・参加費をいただく講座があります。
詳しくは、かわさき市民アカデミーホームページ (<http://npoacademy.jp/>)、区役所・図書館・市民館においてある、かわさき市民アカデミーフェスタチラシをご覧ください。
★問合せフェスタ実行委員会事務局 ☎ 044 (733) 5590

第3期 健康・体力づくりスポーツ教室 受講生募集!

教室名	定員	曜日・時間(回数)	開催期間	受講料
エアロビクス教室	40人	月曜日10:00～11:00(全12回)	12/13～3/14(1/3・2/21は休み)	8,400円
ボディメイクエクササイズ教室	40人	月曜日11:15～12:30(全12回)	12/13～3/14(1/3・2/21は休み)	8,400円
ヨガ教室 A	45人	火曜日13:30～15:00(全12回)	12/14～3/15(12/28・1/4は休み)	8,400円
ヨガ教室 B	45人	火曜日15:15～16:45(全12回)	12/14～3/15(12/28・1/4は休み)	8,400円
気功太極拳教室(火曜日コース)	40人	火曜日10:00～11:30(全12回)	12/14～3/15(12/28・1/4は休み)	8,400円
気功太極拳教室(水曜日コース)	40人	水曜日13:30～15:00(全12回)	12/15～3/16(12/29・1/5は休み)	8,400円
ボディケアのためのストレッチ教室	40人	水曜日15:40～16:40(全12回)	12/15～3/16(12/29・1/5は休み)	8,400円
はじめての太極拳教室	30人	水曜日10:00～11:30(全10回)	12/15～3/2(12/29・1/5は休み)	7,000円
たのしいフラダンス教室	30人	木曜日10:00～11:15(全10回)	12/9～3/3(12/23・12/30・1/6は休み)	7,000円
リズム&ストレッチ体操	30人	金曜日10:00～11:15(全8回)	12/10～2/18(12/31・1/7・2/11は休み)	5,600円

◆申込み方法: 往復はがき(各教室1人1枚)に、下記事項をご記入ください。

①受講を希望する教室名 ②名前(ふりがな) ③性別・年齢 ④〒・住所 ⑤電話番号・ファックス番号

*返信用には、申込者の住所・名前を明記してください。

◆あて先: 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 (財)川崎市生涯学習財団 事業推進室スポーツ教室担当

◆応募締切: 平成22年11月17日(水) 必着 *応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

平成22年11月19日(金)に抽選結果・受講料払込案内を郵送いたします。一旦納入された受講料は傷害保険にも充当しておりますので、教室開始後の返金はできません。 ■問合せ 044 (733) 6626 スポーツ教室担当

陶芸教室 記者体験記

【陶芸を体験しました】No.2

1週間乾かし、形が落ち着いてから底を削ります。「穴が空いても修正できますよ」先生の優しい言葉に安心して作業が出来ました。やっと器らしくなった。今回は、素焼きをして釉薬かけです。(次号に続く)



TRY

あとがき

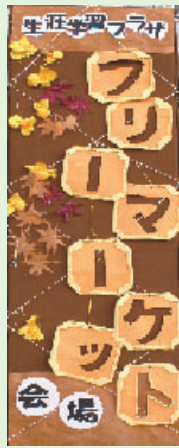
谷戸が連なる川崎市北部に取材した映画「うつし世の静寂(しじま)に」(由井英監督作品)を観ました。人々の絆、信仰、芸能といった風土が見事に描かれていました。改めて川崎に暮らす喜びを感じました。

(財)川崎市生涯学習財団 地域ふれあい事業

恒例のフリーマーケットを、
かわさき市民アカデミーの
フェスタに合わせて開催し
ます。



※雨天時は翌14日(日)
11月13日(土)
10時～15時



川崎市生涯学習プラザへのご案内



《フリーマーケット出店募集》

- ◆ 募集店数 25店 (1ブース約7㎡)
- ◆ 出展協力金 500円
- ◆ 出展募集期間
10月19日(火)～10月29日(金)
9時から16時まで

* 詳しくは、川崎市生涯学習財団ホームページ
やチラシでお知らせします。

★ 問合せ フリーマーケット実行委員会
☎ 044-733-5560



太陽のような明るい笑顔。

ゆとりとやすらぎから生まれる明日への力。

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて

皆様の心と体にうるおいを提供し、

喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。



自動販売機オペレーターNo.1

株式会社 ジャパンビバレッジ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル

☎ 03-5321-0400
<http://www.jbinc.co.jp>